

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	静岡県における人工内耳児への早期介入支援モデルの確立 ：オーストラリア難聴児療育施設 The Shepherd Centre との連携による実践的検証
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	上田裕子
研究期間	2025 年 9 月 ～ 2034 年 3 月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025 年 9 月 2 日）
対象者	静岡県内で出生し、1998 年 4 月から 2025 年 7 月までの間に当院に通院し、補聴支援が必要と判断された先天性または早期発症の難聴児のうち、人工内耳装用などの聴覚支援を受けている児を対象とする。
当該研究の意義・目的	新生児・乳幼児期の難聴の早期診断と補聴の開始や療育対応の早期介入は、その後の音声言語・認知の発達に寄与されることが報告されており、また早期の人工内耳の適用やその後の療育の実施は、聴覚と音声言語の発達を促進し、社会的・教育的観点からも重要であることが研究成果等でも示されています。 そこで本研究では 2025 年より新たに導入された、シェパードセンター（オーストラリアの難聴児療育施設）の知見に基づく聴覚・言語発達支援モデルプログラムを受けた児と比較検討しその有効性を明らかにします。また、日本の医療・療育体制と文化的背景に即したプログラムを構築することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別、診断名、既往歴 など） ・聴力検査結果 ・補聴状況（装用歴、調整記録） ・音声、言語、聴覚の発達状況 ・社会状況適応状況 など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。

	静岡県立総合病院 耳鼻いんこう科 言語聴覚士 上田裕子 きこえとことばのセンター 杉山文康 電話：054-247-6111（代表） メールアドレス：gh-kids-hearing@i.shizuoka-pho.jp
--	--